

非正規社員に こそ賃上げを

—怒りのストライキ決行—



ひろしま

郵政産業労働者
ユニオン広島支部
(広島郵便局内)

18日、私たち郵政ユニオンは時給制契約社員の賃上げゼロ回答など、私たちの要求と会社との回答がかけ離れているとし、全国19職場、中国地本は広島中央が1時間の時限、呉が終日のストライキに突入しました。25春闘における会社の回答は、正社員に関しては納得できるものではないにしても、この数年で一番の賃金改善となりました。非正規社員に関しては、月給制契約社員に賃上げはあったも

の、時給制契約社員は賃上げゼロでした。



日本郵政グループ全体では全社員の約半数(約16万3千人)が非正規社員で働いています。

会社は時給制契約社員の賃上げに関しては、「最低賃金が上がれば法律に則り引き上げている」、「スキル評価が年に2回あり、評価次第で時給が引き上げられる」と最低賃金の交渉の際には回答しています。

しかし、スキルは最高評価に達すると加算給は頭打ちになり、地域別最低賃金でしか上がりま

せん。そして、このスキル評価は下がると最低半年間は賃下げになります。スキルが下げられ、時給が100円下がると月で1万6000円、半年だと10万円近くの減給になってしまいます。スキルの引き下げはモチベーションをさらに下げ、大きなダメージになります。



職場において一番低賃金で苦しい生活を強いられている非正規社員こそ、今大幅な賃上げが必要であり、郵政ユニオンは要求貫徹に向け今後も全力で取り組んでいきます。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう! 会社は組合事務室を貸与せよ!